



開校記念日

校長 五十嵐 圭一



【合唱祭の様子】

10月26日(土)に開催しました合唱祭には、多数の保護者、地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。今年も生徒たちは、素晴らしい歌声を披露してくれ、まさに芸術の秋にふさわしい合唱祭となりました。生徒の皆さん、感動をありがとう。

さて、11月1日は、本校の開校記念日です。学校だより「さくらぎ」11月号では、毎年、開校記念日について紹介していますが、今年も、創立73周年を迎える本校の歴史を改めて紐解いてみたいと思います。

本校は、昭和22年に大宮市立第二中学校として開校しました。当時の生徒数は264名、教職員数はわずか8名でした。昭和22年は、戦後の新たな制度(6・3制の学校制度)のもとに、いわゆる新制中学校が発足した年です。この年、旧大宮市には、第一中学校から第五中学校までの5つの中学校が誕生しています。《第一中学校(大宮東中)、第二中学校(桜木中)、第三中学校(日進中)、第四中学校(大成中)、第五中学校(宮原中)》

開校当初は、準備期間が短かったため本校は独立校舎をもたず、桜木地区は桜木小学校、三橋地区は三橋小学校に併設されて発足しました。そして、昭和23年11月1日に、第二中学校から三橋中学校が分離、翌24年3月31日に、校名を桜木中学校と改称しました。同年、旧大宮高等女学校跡地である現在地に移転し、名実ともに独立しました。後に、この三橋中学校が分離した11月1日が、本校の開校記念日となりました。

その後、昭和30年代には、生徒数1000名、学級数20学級を超える年もありましたが、平成になってからは、概ね生徒数400～500名、学級数15学級前後で推移し、平成30年度末で卒業生総数は、1万4510名に上ります。また、平成15年度には、現在の鉄筋3階建新校舎が完成し、現在に至っています。

これまでの本校の歴史と伝統は、地域の皆様、保護者の皆様の長年にわたるご支援の賜物であり、現在の在校生を含めた1万4000名を超える生徒たちが築き上げたものです。改めまして感謝申し上げます。今後も教職員一丸となり、生徒、保護者、地域の皆様からより一層信頼される学校づくりに努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。



【昭和23年頃の桜木中学校】